

# 標準施工要領書

< 住宅基礎天端面仕上げ専用モルタル >

# レベルアップ天端用

株式会社レゾナック建材

営業部

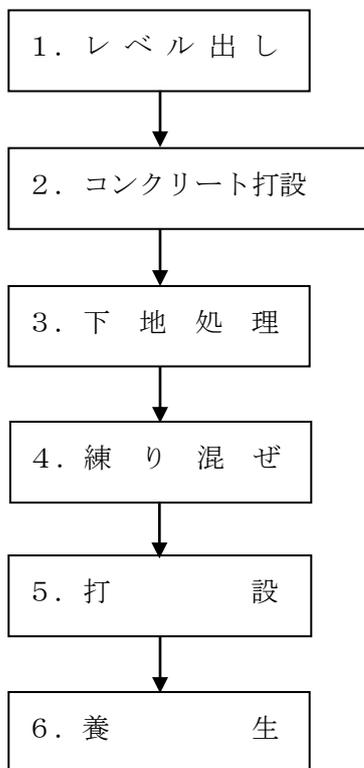
〒221-8517  
神奈川県横浜市神奈川区恵比須町8番地  
TEL 045(444)1691 FAX 045(444)1699

1. 用途 一般住宅の住宅基礎天端面の仕上げ  
標準施工厚 10 mm～15 mm厚

2. 使用材料

材料名	荷姿	性状・その他
レベルアップ天端用	25kg／紙袋	セメント系プレミックスモルタル

3. 施工順序



## 4. 施工手順

## (1) レベル出し

天端ビス等を用いて、仕上げ面のレベル出しを正確に行います。天端ビス等の間隔は約1mとします。

## (2) コンクリート打設

コンクリートは、レベルアップ天端用の打設を見込んで10mm程度控えて打設を行い、木鏝である程度平滑にしてください。

## (3) 下地処理

※レベルアップ天端用の打設がコンクリート打設の当日、翌日以降に関係なく、コンクリート打設面を目荒しすることは、付着性の向上、浮き防止として有効ですので、必ず行ってください。

## [コンクリート打設当日にレベルアップ天端用を施工する場合]

コンクリートのブリージング水が引いた後にブリージングによるレイタンス及び表面のごみ等の除去を兼ねて刷毛、ブラシ等で目荒しを行ってください。部分的にブリージング水が残っている場合は、スポンジ等で除去し、目荒しを行ってください。

## [コンクリート打設翌日以降にレベルアップ天端用を施工する場合]

コンクリート表面のレイタンス・ゴミ・埃・油分等は必ず除去し、ハイモルエマルジョン EV-300 を清水で5倍液 (EV-300 1:清水 4) に希釈して塗布、乾燥後に施工してください。

## (4) 練り混ぜ

材料	配合	重量比	標準練り上がり量
レベルアップ天端用	25kg/袋	100	約15L/袋
清水	6.0L~6.5L	24~26	

所定量の清水 (6.0L~6.5L) を容器に入れ、ハンドミキサー等で攪拌しながらレベルアップ天端用 (1袋) を徐々に加え、全量投入後3分間以上練り混ぜてください。

※ 練り混ぜ水量は、夏季・冬季・乾燥速度などの環境条件によって練り混ぜ水量幅内で調整を行ってください。

※ 練り混ぜ後、15分以内にお使いください。

※ 粉体を追加する練り足し、水を加えての練り戻しは避けてください。

(5) 打設

打設はレベルポイントに合わせて正確に行います。レベルアップ天端用は流動性が高いので、堰板を用いるとより正確にレベルが取れます。打ち継ぎ部分は金鋺でなじませながら、ならしてください。

(6) 養生

季節や天候を問わず、レベルアップ天端用を施工後は、必ずシート養生を行ってください。

養生期間は夏季3日（冬季7日）以上としてください。

<施工上の注意>

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。やむを得ず施工する場合は、適切な養生（シート養生等）を行い、直接雨や雪がかからないようにしてください。強度不足や白華（エフロ）の原因となります。
- 現場にて砂、セメント等を追加混入することは絶対に避けてください。
- セメント製品に特有の現象である白華（エフロ）が発生することがありますが、品質には異常ありません。

※標準仕様以外での施工による不具合につきましては、  
弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

## 5. 注意事項

## &lt;使用上の注意&gt;

- 取扱い時は、必ず保護具（保護手袋・保護眼鏡・マスク等）を着用してください。
- 取扱いは、換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後は、うがい及び手洗いを十分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は、早めに水洗いしてください。

## &lt;応急処置&gt;

皮膚に付着した場合	皮膚は多量の水で洗浄してください。汚染された衣類を脱いでください。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断又は手当てを受けてください。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。直ちに医師の診断を受けてください。
飲み込んだ場合	口をすすいでください。無理に吐かせないでください。気分が悪いときは医師に連絡してください。

## &lt;保管上の注意&gt;

- 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、直射日光を避け地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は製造日から4か月以内に使用しきってください。

## &lt;運送上の注意&gt;

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。

## &lt;廃棄上の注意&gt;

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

## &lt;漏出時の注意&gt;

- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などで回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などを行い、河川等に直接流出しないようにしてください。

詳しくは「安全データシート(SDS)」をご参照ください。